

看護師特定行為研修の概要

1. <国立病院機構の理念>

私たち国立病院機構は、国民一人ひとりの健康と我が国の医療の向上のために、たゆまぬ意識改革を行ない、健全な経営のもとに患者の目線に立って懇切丁寧に医療を提供し、質の高い臨床研究、教育研修の推進に努めます。

2. <病院の理念>

“患者さんと共に”の理念を遂行するため、以下を基本方針とします。

- 1) 患者の意思の尊重と信頼関係の確立
- 2) 地域に密着した良質で安全な医療の提供
- 3) 予防医療への貢献
- 4) 医療の質の向上のための研鑽
- 5) 経営基盤の確立

3. <特定行為研修の理念>

国立病院機構の理念を踏まえ、また、当院が行っている慢性期の高度な医療技術が要求される現場において、チーム医療の担い手である高度な特定行為を実践できる看護師が重要な役割を担うことが想定されます。医療の高度化、複雑化及び専門化が益々進む中で、地域医療並びに在宅医療の充実と医師がベッドサイドに不在の際も、医師の手順書による指示の下、医療安全に配慮した特定行為が実践できる人材の育成に努めます。また、高度な臨床実践能力を発揮しながら積極的に自己研鑽できる人材の育成に努めます。

4. <特定行為研修の目的・目標>

1) 目的

高度医療及び地域医療の現場において、特定行為を実践する看護師としての社会的責任と役割を自覚しながら、高度な臨床実践能力を発揮し、あらゆる領域でのチーム医療のキーパーソンとして役割を果たせる看護師を育成することを目的とする。

2) 教育目標

- (1) 高度医療及び地域医療の場において、特定行為に必要な臨床判断を包括的にできる能力（知識・技術・態度）を養う。
- (2) 特定行為を適切なタイミングに、倫理的かつ安全に行える能力を養う。
- (3) チーム医療のキーパーソンとして、多職種と協働して問題解決できる能力を養う。
- (4) 医学的視点と看護学的視点を融合した新たな看護展開ができ、標準化する能力を養う。

3) 到達目標

(1) 共通科目

- ①多様な臨床場面において重要な病態の変化や疾患を包括的にいち早くアセスメントする基本的な能力を身につける。
- ②多様な臨床場面において必要な治療を理解し、ケアを導くための基本的な能力を身につける。
- ③多様な臨床場面において患者の安全に配慮しつつ、必要な特定行為を安全に実践する能力を身につける。
- ④問題解決に向けて多職種と効果的に協働する能力を身につける。
- ⑤自らの看護実践を見直しつつ標準化する能力を身につける。

(2) 区分別科目

- ①多様な臨床場面において、該当特定行為を行うための知識、技術及び態度の基礎を身につける。
- ②多様な臨床場面において、医師または歯科医師から手順書による指示を受け、実施の可否の判断、実施及び報告の一連の流れを適切に行うための基礎的な実践能力を身につける。

5. <受講定員>

募 集 区 分		定 員
①	在宅・慢性期領域パッケージ	3名
②	栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	2名

6. <研修期間および募集期間>

1) 研修期間：

- ①令和7年6月2日（月）～令和7年12月26日（金）eラーニング、講義、演習、実習
- ②令和8年1月6日（火）～令和8年3月19日（木）eラーニング、講義、演習、実習

2) 募集期間：年1回（3月）

※当院の看護師特定行為研修は、上記の全期間でeラーニングを使用した集合研修で行います。
Web ツールを利用したオンライン研修ではありません。

7. <研修内容>

1) 共通科目（必修）：特定行為区分に共通して必要とされる能力を身に付けるための科目

科 目 名	研 修 方 法	時 間 数
臨床病態生理学	講義、演習	30 時間
臨床推論	講義、演習、実習	45 時間
フィジカルアセスメント	講義、演習、実習	45 時間
臨床薬理学	講義、演習	45 時間
疾病・臨床病態概論	講義、演習	40 時間
医療安全学 / 特定行為実践	講義、演習、実践	45 時間
合 計		250 時間

* 共通科目は、eラーニングを中心とした講義と演習で構成しています。

* 全日病 S-QUE 研究会® の特定行為研修 eラーニングを用いた集合研修で行います。

* すべての共通科目を履修終了後に区分別科目を受講することができます。

2) 区分別科目（必修）：各特定行為に必要とされる能力を身に付けるための科目

①在宅・慢性期領域パッケージ

区分別科目	特定行為名	時間数
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの） 関連	気管カニューレの交換	9 時間 5 症例
ろう孔管理関連	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	17 時間 5 症例
創傷管理関連	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	27 時間 5 症例
栄養及び水分管理に係る薬剤投与 関連	脱水症状に対する輸液による補正	12 時間 5 症例
合 計		65 時間

②栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連

区分別科目	特定行為名	時間数
栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入	8 時間 5 症例
合 計		8 時間

- * 講義、演習及び実習で構成されます。
- * 時間数には、試験時間を含みません。
- * 全日病 S-QUE 研究会[®] の特定行為研修 e ラーニングを用いた集合研修で行います。
- * 演習及び実習は、集合研修で行います。実習では、観察評価を行います。
- * 一部の特定行為は、臨地実習の前に実技試験（OSCE）を行います。実技試験に合格しなければ臨地実習に進むことができません。
- * 臨地実習として、患者に対する実技を特定行為ごとに 5 症例以上経験します。

8. <研修修了要件>

研修科目における履修時間が当該科目時間数を満たしたうえで、共通科目における評価（筆記試験及び各種実習の観察評価）に加え、各区分別科目における評価（筆記試験、実技試験及び各種実習の観察評価）に合格し、看護師特定行為研修管理委員会において、最終の修了と判定された場合に研修を修了とします。

9. <履修スケジュール>（令和 7 年度予定）

①在宅・慢性期領域パッケージ

6 月 2 日（月）	入講式
6 月 3 日（火）～ 8 月 8 日（金）	共通科目 e ラーニング受講 （講義、演習、実習）
8 月 18 日（月）～ 9 月 19 日（金）	区分別科目 e ラーニング受講 （講義、演習、実習）
9 月 下旬 ～ 12 月中旬	臨地実習
12 月 26 日（金）	修了式

②栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連

- 1月 6日（火） 入講式
1月 6日（火）～ 3月 18日（水） 区分別科目 eラーニング受講
（講義、演習、実習）
臨地実習
3月 19日（木） 修了式

10. <研修・演習・実習施設>

- 1) 研修施設：広島西医療センター 中棟 特定行為研修室
- 2) 演習施設：広島西医療センター スキルアップラボ室
- 3) 実習施設：広島西医療センター 各病棟

11. <研修経費>

1) 受講料

①在宅・慢性期領域パッケージ (単位：円)

所 属	受 講 料
独立行政法人国立病院機構の病院に所属する者	450,000
独立行政法人国立病院機構以外の施設に所属する者	600,000

②栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連 (単位：円)

所 属	受 講 料
独立行政法人国立病院機構の病院に所属する者	45,000
独立行政法人国立病院機構以外の施設に所属する者	50,000

2) その他

受講料以外に、学習に必要なテキスト等の書籍費が必要になります。

以 上